

感染症(かぜ)の迅速抗原検査について

* かぜとは？

かぜ(風邪)とは、鼻やのどに起こる急性の炎症の総称で、正式にはかぜ症候群もしくは急性上気道炎と呼ばれる疾患です。

かぜ症候群の原因の 90%以上はウイルス感染であり、まれに細菌感染が原因となります。いまだに流行をみせる新型コロナウイルスや、冬季における流行の代表であるインフルエンザウイルスも原因微生物のひとつにあげられます。

ウイルスによるかぜの治療は、十分な安静と休養、水分・栄養補給が基本であり、薬物治療は症状を軽減させるために用いる対症療法となります。

近年、かぜ症候群の原因となるウイルスや細菌に対して、迅速に診断することが可能な抗原検査が積極的に行われております。

当院では以下のウイルス・細菌に対する迅速抗原検査を保険診療で行うことが可能です。

1) 新型コロナウイルス (COVID-19) 抗原検査

当院では新型コロナウイルスに対する抗原検査、PCR 検査のどちらも受ける事が可能です。抗原検査は、PCR 検査に比べ精度は劣りますが短時間で結果が判明し費用も安価です。

検査方法	鼻腔ぬぐい
結果判定までの時間	10 分
費 用	約 960 円 (3 割負担の場合)

2) インフルエンザウイルス抗原検査

主に 11 月～2 月の冬季にかぜの原因となる代表的なウイルスです。迅速抗原検査では、ヒトに流行を引き起こす A 型と B 型のウイルスを同時に検出することができます。

検査方法	鼻腔ぬぐい
結果判定までの時間	5 分
費 用	約 900 円 (3 割負担の場合)

3) 新型コロナウイルス+インフルエンザウイルス抗原検査

発熱を伴う、鼻・のど・せき症状はコロナウイルス・インフルエンザウイルス感染に共通しており両者を症状や診察所見から鑑別することは困難です。両ウイルスの抗原検査を同時に行うことも可能です。

検査方法	鼻腔ぬぐい
結果判定までの時間	10 分
費 用	約 1,350 円 （3割負担の場合）

4) アデノウイルス抗原検査

アデノウイルスは、鼻・のどを中心に感染症状を起こします。夏季には咽頭結膜炎(プール熱)として子どもたちに流行を引き起こすウイルスでもあります。

上気道炎症状のほかに眼の充血や目やになどを伴っている場合には可能性が高くなります。

検査方法	咽頭ぬぐい
結果判定までの時間	7 分
費 用	約 1,050 円 （3割負担の場合）

5) 溶連菌抗原検査

溶連菌は溶血性連鎖球菌という細菌に分類される微生物です(ウイルスではありません)。

主に扁桃炎の原因となり、激しい咽頭痛と高熱が特徴です。溶連菌はウイルスと同様に感染力が比較的強く、成人では子供から感染することもあります。

ウイルスと違い細菌感染の場合は、抗生物質が有効であり治療の選択肢となります。

検査方法	咽頭ぬぐい
結果判定までの時間	5 分
費 用	約 870 円 （3割負担の場合）

6) 百日咳菌抗原検査

百日咳は百日咳菌という細菌に分類される微生物です。主に乳幼児が罹患する感染症で、ワクチンを受けている成人にはまれな感染症でしたが、最近では成人でも流行が確認され問題となっております。百日咳感染は激しいせきが長期にわたり持続するのが特徴ですが、発症早期の急性期では他のウイルス感染との区別は困難です。

また、確定診断の検査も PCR 検査、抗体検査などがありますが、特殊な検査のため検査施設が限られていること、結果判明まで非常に時間を要するという問題がありました。

近年、精度は少し劣りますが迅速に判定できる百日咳抗原検査が保険診療で可能となりました。

検査方法	鼻腔ぬぐい
結果判定までの時間	15 分
費 用	約 1,160 円 （3割負担の場合）

7) マイコプラズマ抗原検査

マイコプラズマは細菌に分類され上気道炎のほか気管支炎や肺炎を引き起こす原因となります。特に児童～若年成人を中心に多くみられ発熱を伴う急性期の症状から激しいせきが長期間に渡り続くのが特徴です。

検査方法	咽頭ぬぐい
結果判定までの時間	15 分
費 用	約 950 円 （3割負担の場合）

※ご注意

いずれの迅速検査も症状や診察所見から疑わしい場合に検査を行います。

原則として複数の抗原検査を同時に行うことはできません。